

科学研究推進WG

田原 俊司

1. 活動記録

本年度行った主な活動は本学女性研究者サポート室主催の科研獲得セミナー出席，奨励研究相談会開催および希望者に対する奨励研究応募書類の事前チェックである。また，例年通り奨励研究応募要領の変更点や応募書類作成上の注意点を要約して配布した。さらに本学研究協力課が行う事前チェックの際に用いるチェックリストを技術部向けにアレンジして配布し，応募者にセルフチェックを行うようお願いした。

以下に活動の概略と連絡会の議事概要を記す。

活動概略

- 6月 1日 科研獲得セミナー出席（女性研究者サポート室主催）
- 10月 26日 新任者対象の奨励研究相談会開催
- 10月 29日 奨励研究計画調書・応募カードのサンプル配布
応募要領の変更点・応募書類作成上の注意点の要約を配布
- 11月 7日 セルフチェック用チェックリスト配布
- 11月 5日～ 15日 奨励研究応募書類の事前チェック
 - 11月 5日 事前チェック受付開始
 - 11月 9日 事前チェック受付締切り
 - 11月 15日 事前チェック後返却完了
- 11月 26日 奨励研究応募書類の技術部内提出締切り

連絡会議事概要

- 7月 10日 第1回科学研究推進WG連絡会
 - ・科研獲得セミナーの報告
 - ・採択結果および全国の採択件数の推移について報告
 - ・奨励研究相談会の内容について検討
- 10月 12日 第2回科学研究推進WG連絡会
 - ・WG活動日程の決定
 - ・奨励研究相談会の日程を参加希望者と調整することを決定
 - ・チェックリストを技術部全員に配布するがセルフチェック用とし，提出不要とする
 - ・事前チェック方法および受付期間の決定

10月26日 第3回科学研究推進WG連絡会

- ・研究協力課のチェックリストが公開された後で、技術部向けに追加・変更する箇所を検討するよう各委員に依頼する旨の連絡
- ・計画調書・応募カード・依頼書の記入要領変更点の洗い出し作業
- ・応募書類作成上の注意事項について確認
- ・事前チェックに関する申し合わせ

12月15日 第4回科学研究推進WG連絡会

- ・応募状況の報告
- ・事前チェックにおいて新たに発覚した問題点や注意点の報告
- ・事前チェック依頼者増加のための方策について議論
- ・奨励研究応募資格について確認
- ・WG代表者交代について

2. 活動成果

奨励研究応募書類の事前チェックについては多くの人の考えを参考にしてもらうことを目的として、前年度に引き続き1件の応募書類に対して3名の委員がそれぞれチェックを行う態勢を取った。実際の事前チェック依頼件数は前年度8件に対し本年度は5件に減少した。

最終的に研究協力課へ提出された応募書類については、あらかじめチェックリストを配布して応募者にセルフチェックをしていただいたため、応募書類の不備が全くなかった。

また応募件数は前年度より1件増加して29件となったが、奨励研究応募有資格者数も1名増えたため、奨励研究の応募率はほぼ横ばいとなり前年度の77.8%から78.4%へ微増しただけであった。

なお、平成24年度奨励研究の採択については応募件数28件に対し、採択件数は3件であった。これもまた前年度と同数に止まった。

3. 今後の展望

奨励研究の応募件数増加を図ることは重要であるが、これ以上の応募件数増加がほとんど見込めないところまできており、さらに最終的には採択件数の増加が最も重要であると考えられることから今後は採択件数の増加を目標とした取り組みを行いたい。

そのためには応募書類の課題名の選定や内容のレベルアップを図ることが重要であると思われるが、次年度は内容のレベルアップの方法のひとつとして事前チェック依頼件数を増やす手立てを講じたいと考えている。